

平成27年度 業務実績報告書の自己評価に対するチェックシート

①項目	②年度計画の内容	③評価	④原因・経緯等	⑤H27の対応・措置等	⑥H28以降の状況等	報告書頁
Ⅱ-1 (4) 教育	【大学院課程】 行政機関、民間企業等訪問を積極的に実施し、入学定員と同数程度の志願者を常に確保する。	C	大学院生の募集に当たっては、新たに入学料の免除制度を創設するとともに、行政機関や民間企業訪問について、研究科長のほか理事長によるトップセールスを行ったが、企業の求人件数の増加による雇用環境の変化などにより、入学定員と同数程度の志願者を確保できなかった。	学部・大学院を通じた一体的な教育を行うべく、本学学部を卒業した者及び卒業見込みの者を対象に、入学料の全部を免除する制度を平成27年度に新たに創設し、第Ⅱ期募集から実施した。また、ポスターの送付、行政機関や民間企業への訪問、ホームページの充実など入試広報に努めた。	平成28年度において、引き続き入学料の全額免除制度を活かし、学部生(学内推薦希望者)や学部卒業生に働き掛け、志願者の確保に努めるとともに、学部・大学院を通じた一体的な教育の実現を目指すための方策を検討する。	25
Ⅱ-1 (5)② 教育	【学士課程】 現在の就職支援システムを廃止し、これまで以上に学生の利便性の高い求人票管理システムを導入することで必要な改善を図る。	C	求人票管理システムについては、新情報システムの就職関連システムがオプションであり、メインのシステム構築を優先して取り組んだため、就職関連システムの検討に着手したものの導入に至らなかった。	就職関連システムのオプション内容の確認及び検討に着手した。	平成28年度中の導入に向け、検討及びシステムの構築を進める。	27
V-1 自己点検・評価	効率的な業務の運用を図る目的から教員及び事務職員の自己点検や自己評価を実施する。	C	業務運営改善を目的とした教員職員・事務職員の目標設定及び自己点検・自己評価については、業績評価を反映した新たな人事評価制度により実施することとしており、制度構築に当たって参考にする青森市においては、平成27年度に業績評価の試行を開始したところであることから、その検証結果を見極めた上で対応することとし、平成27年度は実施しなかった。	青森市における業績評価の試行の状況を確認しながら、本学における制度内容の検討に着手した。	平成28年度は、青森市における実施内容や制度運用上の課題への対応などの状況を確認しながら、制度構築の検討を進める。	45
Ⅵ-2 その他	本学の「情報セキュリティポリシー」を作成し公開する。	C	「情報セキュリティポリシー」については、マイナンバー制度への対応を含め、具体的な運用について確認する必要があったことから、平成27年度での作成は見送った。	「情報セキュリティポリシー」については、マイナンバー制度の取扱いも密接に関連することから、当該制度に関する規程等の整備と併せて作成することとした。	平成28年度において、「情報セキュリティポリシー」を作成し、公開する。	48